

## 目線の高さを重視した家具を選ぶ



|          |                  |         |         |                   |         |
|----------|------------------|---------|---------|-------------------|---------|
| Sofa     | <b>SS-120LGY</b> | ▶ p.70  | Cabinet | <b>PM-308</b>     | ▶ p.112 |
| Table    | <b>SOT-105NA</b> | ▶ p.86  | Bench   | <b>VET-332NA</b>  | ▶ p.131 |
| TV Board | <b>PM-203</b>    | ▶ p.98  | Table   | <b>VET-333TNA</b> | ▶ p.131 |
| Stool    | <b>IVY-200A</b>  | ▶ p.82  | Chair   | <b>VET-331NA</b>  | ▶ p.131 |
| Stool    | <b>NW-180</b>    | ▶ p.174 |         |                   |         |

日本家屋を自宅としてリノベーションする場合には、床に直接座る日本の「床座スタイル」を意識したコーディネートが重要に。床座の特長は、床に座ったときの目線・導線を軸にすると、インテリアの重心も低くなるため、空間が広く感じられること。それに伴って、低めのチェストであっても

パーティーション代わりとして活躍することなども、レイアウトのポイントとなります。土間や縁側などのように“家の中と外”の境目が曖昧な日本家屋には、そうした工夫が必要です。さらに、欄間や障子、梁など、日本の趣をどう取り入れるかも悩みどころ。伝統と現代の暮らし、見た目のよさと住みやすさ。その境界線をどこに引いていくのか？バランスのいいリノベーションを探求していきました。